

2016年(平成28年)9月30日(金) NO 102号

# K-PURO NEWS

## 【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	<a href="http://www.k-puro.co.jp">http://www.k-puro.co.jp</a>
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

## 【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

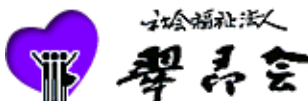
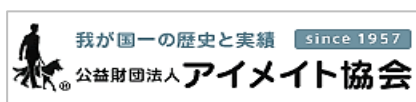


## 【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	<a href="http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/">http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/</a>
NPO 法人	さいたま起業家協議会	<a href="http://www.saitama-kk.org/">http://www.saitama-kk.org/</a>
公益社団法人	千葉東法人会	<a href="http://www.chibahojin.jp/">http://www.chibahojin.jp/</a>
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	<a href="http://www.rinri-chiba.org/">http://www.rinri-chiba.org/</a>
公益財団法人	モラロジー研究所	<a href="http://www.moralogy.jp/">http://www.moralogy.jp/</a>

## 【応援団体・企業】



## ごあいさつ



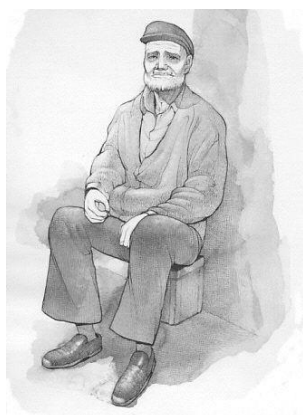
「知恩」「感恩」「報恩」という言葉があります。  
自分自身が数限りない恩を受けているという事実を知り、  
これに感謝して、恩に報いることの大切さを説くものです。  
現代の社会は、無数の先人たちの苦勞や努力の上に築かれた  
ものです。私たちは今、そうした恩恵のもとに生かされているのです。

“次の世代が幸せに暮らせるように”と願って今を築いた先人たちの心を受け継ぎ、自分自身もまた、子孫の世代を思って社会の維持・発展に努めていくことは、先人の恩恵に報いる方法の一つといえるのではないのでしょうか。

代表取締役 木戸 良樹

## 今月の良い話

## 「旅人の話」



ある町がありました。  
一人の旅人がその町にやってきました。  
町の入り口の門のところ一人の老人が座っていました。

旅人は聞きます。  
「おじいさん、この町はどんな町？」  
おじいさんは聞きます。  
「あなたがいままでにいた町はどんな町でしたか？」  
旅人は答えました。  
「いやあ、前にいた町は嫌な人ばかりでろくな町じゃなかったよ」  
「そうですか、この町もあなたが前にいた町と同じ町です」

また別の日に旅人が来る。  
「おじいさん、この町はいったいどんな町ですか？」  
おじいさんは聞きます。  
「あなたがいままでにいた町はどんな町でしたか？」  
「私がこの前にいた町は、素晴らしい町で、人々は親切で、あんなによい町はありませんでした」  
「そうですか、この町もあなたが前にいた町と同じ町です」  
と答える。

これは逸話です。  
いい方はいろいろあるようですが、昔からある有名な話です。  
二人の旅人が来た町は同じなんです。  
結局この逸話のいいたいことは何か。

環境というものは「その人の心が決める」ということです。

我々が何のために学ぶのかというのは  
環境をよりよくつくるために学んでいるわけですね。  
結局環境をつくるのはその人なんですね。  
その人の心が環境を決める。



環境に左右されるのではなく環境をつくれる人間になりたいものです。

「環境が人を作るということに捉われてしまえば、人間は単なる物、単なる機械になってしまう。  
人は環境を作るからして、そこに人間の人間たる所以がある、自由がある。  
即ち主体性、創造性がある。

だから人物が偉大であればあるほど、立派な環境を作る。  
人間が出来ないと環境に支配される」・・・安岡正篤

到知出版社社長 藤尾 秀昭 氏

記事提供 到知出版社

## 今月の良い話 「不祥事を防ぐ」

銀行をすでに定年退職された方から実際に伺った話です。  
その方はある時、問題のある店舗に支店長として配属されました。  
なぜ問題のある店舗かという、その支店内においては、長年にわたって不正経理などの不祥事が頻発していたからです。  
通常、支店内の不祥事が発覚して支店長が責任を取るという場合、不祥事発覚の時期が問題になります。  
着任後のある一定期間は、前支店長の管理責任が問われるのです。  
ですからこの方も、新しい支店長として着任後、まず最初に取り組んだことは、現時点において不正がないかを徹底的に調査することでした。  
その結果、何も問題は発見されなかったのですが、ふと急に、不安が襲ってきたそうです。  
「もしかしたら不正が行われるかもしれない。今度は私の責任が問われてしまう」という不安。



そこで、この方が取った行動はたいへんユニークでした。  
不正を防ぐには「神様に頼むしかない」と近くの神社に参拝し、個人のポケットマネーで支店の行員分のお守りを購入して、各自の机の引出しの中にしまわせたのです。  
すると不思議なことに、その方がその店舗の支店長として在任中、一度も不祥事は起こらなかったのです。  
ではなぜ、不祥事は怒らなかったのでしょうか。

この事実を神様の力を持ち出さないまでも、ある程度、説明することができます。  
例えば、行員が支店長の一連の行動を見て、「この支店長には迷惑をかけられない」と思った、あるいは机の中のお守りが各自の良心を呼び起こした、などです。  
つまり人間は、小さなことをきっかけに、不祥事に手を染める場合もあれば、その反対に躊躇する場合もあるということです。

もともと人間の心というのは、きわめて微妙なものです。  
臨床心理学者の河合隼雄氏が『こころの処方箋』の中で、「心の中のことは、だいたい五十一対四十九くらいのところで勝負がついていることが多い」と述べているように、たとえ不正経理をするような人でも、「お金がほしい」という欲望がある反面、それと相反する「いけないことだ」という気持ちを持っている場合がほとんどなのです。  
そして「五十一対四十九」とあるように、二つの気持ちはわずかな差で勝負していることが多いといえるでしょう。

私たちは、例えば人から挨拶をされて無視されること、捨ててあったゴミを放置することなど、軽微なことを疎かにしがちです。  
が、結果がすぐに現れないからといって、こうした心づかいと行いを累積すれば、悪しき企業体質をつくるのです。  
私たち人間は道を求める心が欠けると、そのすき間から悪心が入ってきます。それを防ぐためにも、「持久微善を積んでたゆまず」の精神で、たとえどんな小さなことであってもそれを疎かにせず善事を継続していくことが、企業経営において何よりも大切であるといえるでしょう。

モラロジービジネスクラブ 学習資料 N03

## 事件ファイル NO102

## 近年の主要犯罪の推移

殺人事件のニュース等でのイメージからか、一般の方々は治安が悪くなっていると感じられているようです。確かにバラバラ殺人事件は以前より増えている感じがします。

現在増加している犯罪は、やはり「特殊詐欺」に該当する「振り込め詐欺」です。平成23年は6,233件だったのが、平成27年には12,471件と倍増しています。それに比例して、被害金額も204億円から482億円と増加しています。

一方、「侵入盗」は、平成23年は126,382件に対し、平成27年には86,373件と年々約8%ずつ減少しています。ものすごい減少数です。

このことは、中国窃盗団の皆無、防犯カメラの普及、ホームセキュリティの普及、防犯パトロールの増加が寄与していることは間違いありません。

凶悪犯罪と定義するものは「殺人」、「強盗」、「放火」、「強姦」の4種類です。気になる殺人ですが、平成23年1,052件、平成24年1,032件、平成25年938件、平成26年1,054件、平成27年933件とやや期待外れでしたが、毎年1,000件前後を推移しています。

「強盗」は平成23年3,695件から平成27年には2,426件とこちらも毎年減少しています。「放火」と「強姦」は毎年1,100件程度とご記憶下さい。

マスコミから受ける体感治安のイメージと実数値は、実は大きく乖離しているのです。

## プロ太の小話集

## NO102

## 『 姉と柿 』

先生 「はい、ではヒロシ君、次読んで。」

生徒 「はい先生、『最近、家の姉が色づきはじめ、とてもおいしそうです。』

先生 「????、ヒロシ君、その字は姉ではなく柿と読みますよ……。」



//////////  
今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

先日、一文に衝撃を受けました。ある日本人がマザー・テレサと面会した時に質問した言葉です。マザー・テレサは、生死も分からない全身から膿を出している人やウジ虫の湧いている人たちを抱き抱え、体を綺麗に洗い、温かいスープを与えて最期は人間らしくと願いながら見送るそうです。

「どうしてあなたは、あの汚い乞食をかかえられるのですか？」

「あの人たちは乞食ではありません」

「えっ、あの人たちが乞食ではなくいったい何ですか？」

「イエス・キリストです。イエスは、この仕事をしているあなたが本物かどうか、そしてこの仕事をしているあなたが本気かどうかを確かめるために、あなたの一番受け入れがたい姿でああなたの前に現れるのです」



どう感じましたか？あなたの前に現れる嫌な人こそ、実はイエス・キリストなのかもしれません。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)